



# 新井中学校

所在地 妙高市錦町 1-2-1

電話 72-2828 FAX 72-2628

ホームページ <http://www.azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-c/>



## 1 学校の概要

- (1) 創立 昭和 45 年 4 月 1 日
- (2) 教職員 校長 栗原陽一 教頭 脇川幸治  
主幹教諭 1 名 教諭 40 名 講師 4 名  
養護教諭 1 名 栄養教諭 1 名  
事務主幹 1 名 主事 1 名  
ALT 1 名 教育補助員 1 名  
図書司書 1 名 用務員 2 名  
特別支援教育支援員 10 名

### (3) 学級編制

学 年	学級	男	女	合 計
第 1 学年	5	8 7	7 7	1 6 4
第 2 学年	5	9 3	7 1	1 6 4
第 3 学年	5	8 3	6 5	1 4 8
特別支援	8	3 2	1 3	4 5
合 計	2 3	2 9 5	2 2 6	5 2 1

## 2 学校経営の基本構想

- (1) 「新井中ブランド」の確立  
「新井中ブランド」をイメージし評価できる生徒  
→「新井中ブランド」を生徒が創造できる  
→「新井中プライド」へ
- (2) 「ベストチーム新井」をつくる  
個を大切にしながらも、周りの事を配慮し、助け  
合える職員集団へ
- ①互いに高め合い、補い合うことのできるチーム新  
井中の構築
- ②職員研修、教科部会等を通じた授業力の向上
- ③全職員の共通理解を土台とした生徒指導体制の  
充実
- ④日常的な保護者、地域との連携（共に歩む）

## 3 教育目標

「不撓不屈」～困難に立ち向かい、最後まで  
あきらめずにやりきる生徒～

## 4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標  
「夢と志をもち、逞しく、自ら生活を創造できる  
生徒の育成」  
○将来を見つめ、強い心と体で自分の生活を創り出  
せるよう指導を行う。
- (2) 努力事項
- ①居場所のある学級づくり
- ②楽しくわかる授業づくり
- ③いつでもどこでも生徒指導
- ④特別支援教育の充実
- ⑤全校清掃の実施
- ⑥CS の 3 機能を生かした運営

## 5 研修計画

- (1) 研究主題  
「高め合う」生徒の育成  
～生徒が意欲的に学習活動に取り組める学級経営・授業展開の工夫～
- (2) 主題設定の理由  
「高め合う」とは、「意欲的に」「互いに学び合い  
ながら」学習活動に取り組む姿をとらえている。そ  
の実現のためには基盤となる学級経営（人間関係づ  
くり）、授業づくり（授業改善）が重要と考え、本  
研究を進める。
- (3) 研究内容
- ①「対話のある活動」を基盤とした表現力の向上
- ②継続的な「読解力」の育成を目指した授業改善と  
実践の共有化
- ③ICT 機器（1 人 1 端末）の学級経営・授業改善の  
ための有効活用と実践の共有化
- [学級経営の工夫]
- 誰もが安心して「参加」し、誰とでも「対話（か  
かわり合い）」できる学級→集団の質の高まり
- ①話し合い活動の充実（ミニ班会議）
- ②実態の掌握のための QU アンケートの活用
- [授業展開の工夫]
- 基礎力としての読解力の育成を目指した授業づ  
くりと対話場面の意図的な設定
- 主体的で対話的な深い学び
- ①授業改善（学び合い・学習タブレットの活用）
- ②研究授業（読解力の育成に重点をおいた授業）

## 6 SDGs 推進計画

- 1 年生 妙高市はどんな街だろう  
↓ （SDGs を身近な視点で考える）
- 2 年生 妙高市と他の地域の違いは何だろう  
↓ （SDGs の視点でまちづくりを考える）
- 3 年生 妙高市を未来まで残すために何をするべき  
だろう（SDGs の視点で地域貢献を考える）

## 7 主な行事の予定

- 4 月：始業式、入学式、交通安全教室、生徒会リエンション
- 5 月：生徒総会、鍛錬祭
- 6 月：地区各種大会、定期テスト、地区陸上大会
- 7 月：終業式、県総体、個別面談
- 8 月：始業式、北信越大会、全国大会 2 年職場体験
- 9 月：体育祭、合同新人陸上大会、定期テスト
- 10 月：合同新人各種大会、音楽祭
- 11 月：県駅伝大会、定期テスト
- 12 月：生徒会役員選挙、期末面談、終業式
- 1 月：始業式、地区・県大会、3 年定期テスト
- 2 月：1、2 年定期テスト、全国大会、公立特色化選抜
- 3 月：卒業式、公立高校一般選抜、2 年修学旅行